

## この本の特色と使い方

この本は、国語だけでなく、ほかの教科の学習にも非常に重要な「漢字」や「言葉」に関する力を基礎からしっかりと習得できるように作られています。

### この本の特色

#### ①漢字を確実に習得する教材

画数、読み方や筆順の基本情報のほかに、なぞり書きをふくめた練習用のマスを設けました。

#### ②学習内容の定着

練習したあとには、その漢字を使った読み・書き問題で定着をはかります。一回ごとにテストを設けていますので、定着度をチェックすることができます。

#### ③語彙・表現力の育成

その回で習う語句を使った「意味調べ」と「短文作り」問題を一回につき一ページ設けました。意味調べによって、漢字をより定着させることはもちろん、その語句を使った短文作成問題で表現力を養います。

### この本の使い方

この本では、一年生で習った漢字の中から三八字を第一回から第七回で復習し、二年生配当のハニ字を第七回から第二十回で、学習するように作られています。

☆一日一ページ：一日一ページ、一週六ページを想定しています。

一日目：一週間で覚える漢字は全部で六字です。その中の三字について画数や読み方、筆順を確認しながら、正しく書く練習をしましょう。

二日目：一日目で覚えた漢字を覚えられているかを確認します。

三日目：残りの三字を、一日目と同じように練習しましょう。

四日目：三日目に覚えた漢字を、二日目と同じように練習しましょう。

五日目：一日目、三日目で習った漢字を使った語句の意味調べ・短文作り問題です。

辞書を引く習慣をつけ、文章を書く練習をしましょう。

六日目：学習した漢字がきちんと身についているか試してみましょう。まちがえた漢字はそのままにせず、練習マスでやり直しましょう。

丸つけの例：問題を解き終えたら、すぐに丸つけをしましょう。

・正解の場合は赤えんぴつ（赤ペン）で○をつけましょう。

(例) ここはろくねんせいの教室です。

六年生

赤えんぴつで丸つけ

・まちがってしまった答えは、消しゴムで消さずに、もう一度取り組みましょう。やり直した答えは赤えんぴつで書き、青えんぴつで丸つけをしましょう。

(例) ここはろくねんせいの教室です。

六年正

青えんぴつで丸つけ

赤えんぴつで書く

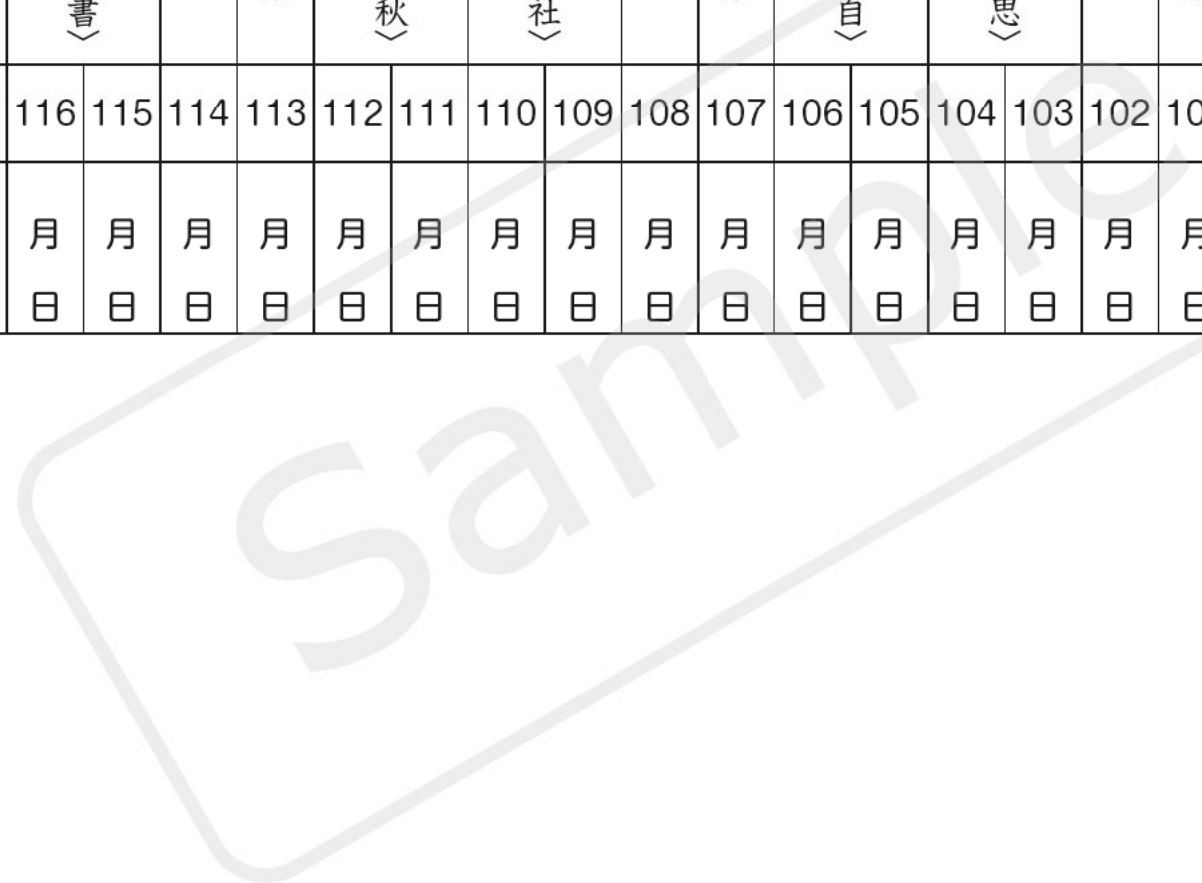
六年生







第20回						第19回						第18回						第17回						回
テスト	⑤	④	③	②	①	テスト	⑤	④	③	②	①	テスト	⑤	④	③	②	①	テスト	⑤	④	③	②	①	
	ことば	〈少・場・色〉		〈週・春・書〉			ことば	〈弱・首・秋〉		〈時・室・社〉			ことば	〈紙・寺・自〉		〈矢・姉・思〉			ことば	〈算・止・市〉		〈才・細・作〉		
120	119	118	117	116	115	114	113	112	111	110	109	108	107	106	105	104	103	102	101	100	99	98	97	ページ
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	学習日
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	



◎ 一年生で習った漢字の復習です。筆順をかくにんしながら、なぞり書きと練習をしましょう。

漢字 「画数」	漢字	漢字
おん 音読み くん 訓読み	おん 音読み くん 訓読み	おん 音読み くん 訓読み
筆順	筆順	筆順
なぞり書き・練習	なぞり書き・練習	なぞり書き・練習
雨	貝	学
雨雨雨雨雨雨雨雨雨雨	貝貝貝貝貝貝貝貝貝貝	学学学学学学学学学学
おん ウ くん あめ	おん —— くん かい	おん ガク くん まなぶ
[8]	[7]	[8]

① 次の線部の読みをひらがなで書きましょう。

- (1) あしたは 雨だ。
- (2) めずらしい 貝を 拾った。
- (3) 姉は 大学生だ。

② 次の線部の漢字を書きましょう。また、2回練習しましょう。

- (1) かいの 首かざりを 作った。
- (2) 日本の れきしを まなぶ。
- (3) 運動会が あめで 中止に なった。

① 次の線部の読みをひらがなで書きましょう。

- (1) 雨ふりの 日が つづいて いる。
- (2) とても きれいな 貝がらを 見つけた。
- (3) 家の となりが 小学校だ。
- (4) 集めた 貝がらを びんに 入れる。
- (5) 新しい ことばを 学んだ。

--	--	--	--

② 次の線部の漢字を書きましょう。また、3回練習しましょう。

- (1) あしたは にゆうがく式だ。
- (2) にわかあめが やむまで 待とう。
- (3) あさりや はまぐりには かい柱がある。
- (4) たいふうで う量が ふえた。
- (5) はまべで かいを 拾う。

--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 一年生で習った漢字の復習です。筆順をかくにんしながら、なぞり書きと練習をしましょう。

漢字 「画数」	漢字 「画数」	漢字 「画数」	漢字 「画数」	漢字 「画数」
おん 音読み くん 訓読み	おん 音読み くん 訓読み	おん 音読み くん 訓読み	おん 音読み くん 訓読み	おん 音読み くん 訓読み
筆順	筆順	筆順	筆順	筆順
なぞり書き・練習	なぞり書き・練習	なぞり書き・練習	なぞり書き・練習	なぞり書き・練習

① 次の線部の読みをひらがなで書きましょう。

- (1) 犬を 散歩に つれて 行く。
- (2) 弟の 様子が 気になる。
- (3) つり糸を たらす。

② 次の線部の漢字を書きましょう。また、2回練習しましょう。

- (1) 門の そばに 白い いぬが いる。
- (2) はりに いとを 通す。
- (3) 親と こで さんかする。

① 次の線部の読みをひらがなで書きましょう。

(1) 犬小屋の中に かわいい 子犬が いる。

(2) まゆから き糸が とれる。

(3) 王子様が 生まれました。

(4) 元気な 子どもたちだ。

(5) 番犬が どろぼうに ほえる。

--	--	--	--	--

② 次の線部の漢字を書きましょう。また、3回練習しましょう。

(1) こもり歌を 聞いて ねむく なる。

(2) いぬが いぬかきで 川を 泳いで いる。

--

(3) 電しレンジを つかう。

(4) 駅前で かい助けんを 見た。

(5) 赤い 毛いどで セーターを あんで もらう。




① 次の線部の言葉の意味を国語辞典で調べましょう。また、その言葉を使った短文を作りましょう。

(1) ぼくは にわか雨が やむまで 待つことに した。

意味調べ


短文作り


(2) お母さんが 赤い 毛糸<sup>け</sup>で セーターを あんで くれた。

意味調べ


短文作り